



# 能勢高校ニュースレター

第69号 H.25. 10月発行

## 能勢高校文化祭を開催しました。ご来場ありがとうございました！

9月28日(土)秋晴れのもと開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。地域の方々、小中学校、外部の連携団体、PTAや「能勢高校を応援する会」のご協力により、にぎやかな文化祭となりました。当日、能勢高生は、舞台や展示、模擬店等に大いに活躍しました。

総合学科に改編されて今年で10年になります。文化祭の企画には、4つの系列(人文・理数、国際・情報、人間・環境、食・花・交流)の学びが大きく反映されています。農場での生産活動を通じての地域の人々との触れ合い、町内の福祉施設でのボランティア活動や部活動の発表、留学生や海外の人たちとの国際交流、そして小中学生との連携の成果が、能勢高校の文化祭の様々なシーンで表現されていました。

今年のテーマは、体育祭と同じ「一勝懸命・一笑懸命」でした。小中高連携企画では、各小中学校に折り紙を配り、それぞれの思いを込め“一生懸命”折り鶴を折ってもらいました。「折り鶴に思いを込めて」から、「小中高一貫教育のまち“大阪のてっぺん能勢町”に能勢高あり」というメッセージが聞こえてきたことでしょう。

\*ご協力いただいた団体:「オイスカ関西研修センター」、「大阪大学モンゴル今岡教授ゼミ」「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」、小中学校、本校PTA、「能勢高校を応援する会」ご協力ありがとうございました。



全体企画「入場門」



小中高連携企画「折り鶴に思いを込めて」



体育館ステージ



農産物販売の長蛇の列



オープニングの西中吹奏楽部



模擬店・体育館ステージ・展示



スマートボールを楽しむ留学生



今年は本校の総合学習で学んでいるオイスカやモンゴルのマンホールチルドレン等貧困児童救済施設「太陽の子」への活動支援だけでなく、文化祭特別委員会主催のフリー・ザ・チルドレンへの募金も行いました。

支援内容は、以下のようになりました。

オイスカへ10,600円(フィリピン植林活動支援) モンゴル「太陽の子」へ2,000円と「太陽の子」の手工芸品販売(貧困児童救済支援) フリー・ザ・チルドレンへの募金19,262円(児童労働撲滅運動支援)でした。来場者の皆さま、多くのご協力ありがとうございました。



文化祭特別委員会「うるおいプロジェクト」フリー・ザ・チルドレンへの募金

## うまいもん甲子園関西地区大会出場！

能勢高校ライスプロジェクトチーム(2年生 上坊つかさ、内門優斗、谷井宏基)は、昨年度から米の消費拡大のために各種発表会での発表、さらには能勢町特産品の発信を目標に取り組んできました。2013年8月、多数の応募の中から書類審査を通過し、「うまいもん甲子園関西地区大会」に出場を果たしました。



道の駅能勢（能勢町観光物産センター）  
「からくり丼」 メニュー企画提案

能勢高校は大阪ユネスコスクールネットワークのライスプロジェクトに参加しています。プロジェクトチームは、お米の栽培方法を学ぶと共に、お米の持続可能な生産のために消費拡大が必要と考え、米粉を用いた製菓や、料理メニューの開発を行ってきました。この活動をもとに、能勢町観光物産センター（道の駅能勢）にメニューを企画提案し、1日10食限りの限定メニューとして販売していただけることになりました。是非ご賞味ください。旬の食材使用のため、販売は11月4日までです。お急ぎください！！



限定メニュー「からくり丼」

プロジェクトチームの生徒たち



プロジェクトチームの生徒たち

大阪のてっぺん能勢高校農業クラブプロデュース！！  
能勢高生と過ごす収穫加工体験の秋、能勢の休日

平成25年9月29日（日）本校農場で、京都新聞旅行センターとの共催による日帰りの観光ツアーを実施しました。天候にも恵まれて、京都からツアーに参加された20名のお客さんたちに、能勢高校生の案内による農場体験で、秋の一日を楽しく過ごしていただきました。今回のツアーは、2年連続で「全国高校生観光甲子園優秀賞」に輝いた「能勢観光プラン」を商品化させたものです。午前中は、校長先生と生徒代表のあいさつ、本校の紹介とツアー内容の説明に続き、栗拾い体験、焼き栗試食をしていただきました。午後は、黒米稲刈り体験、ポン菓子作り、羊毛加工体験、養蜂体験と、多様なメニューを楽しんでいただきました。アンケート結果で「地元の高中生と触れ合うことができ、能勢町を一層身近に感じた。」「次回もこのような機会があればぜひ参加したい。」等のコメントをいただくなど、満足度がとても高かったことが伺えました。



ツアーを担当した農業クラブ2・3年生



栗拾い体験



黒米の稲刈り体験



黒米のポン菓子作り体験



羊毛を利用したコースター作り体験



蜂の巣箱観察体験

短期留学生 ブーン(タイ)の紹介

A F S秋の短期留学生ブーンがタイから来日し、10月7日（月）～10月25日（金）の間、能勢高校に通学していました。短い期間でしたが、1年生のクラスに所属し、楽しい学校生活を送りました。「LHR」の時間に、1年生全員に出身国タイの生活や文化についてプレゼンテーションをし、異文化交流を行いました。ブーンが今回日本への短期留学に参加した理由は、「テレビで見たアニメの国、日本に行くのが幼いころの夢だったからです。」とのことでしたが、「今回の留学で、日本文化や日本語をたくさん勉強しました。また、将来の夢は、もっと日本語を勉強して、日本で働くことです。」と語ってくれました。



教職員に挨拶をするブーン

イマン(フィリピン・池田高校)、イマ(インドネシア・梅花高校)が来校

プレゼンテーションを行いました！！

10月10日（木）池田高校A F S留学生イマンくん（フィリピン）と梅花高校A F S留学生イマさん（インドネシア）の二人が来校し、6時間目2年生「LHR」の時間に「国際理解教育」の一環として、それぞれの国の文化などについてプレゼンテーションを行いました。本校2年生は、来年1月に修学旅行でマレーシアに行くことになっているので、地理的に近い今回の2つの国についての紹介や、特に言葉がとてもよく似ているインドネシア語の紹介を、大変興味深く聞き入っていました。



イマさん（インドネシアの紹介）



イマンくん（フィリピンの紹介）